

使用済み切手を 岐阜信金が寄贈

県社協に

岐阜信用金庫(岐阜市)は27日、職員や来店客から集めた使用済み切手やベルマーク、書き損じはがきを県社会福祉協議会に寄贈した。

地域貢献活動の一環で1997年度から始まり、今年で29回目。今年のはがきが45枚と前年度より微減したが、職員の意識向上などで切手が2割増の3万61

96枚に。ベルマークは5423枚だった。切手やは

がきは換金して地域のボランティア活動に充てられる予定で、ベルマークは県内の学校に寄贈される。

岐阜市下奈良の県福祉農業会館で行われた贈呈式で、同金庫地方創生部の大野孝一部長は「職員やお客さまのちょっとした心遣いの集積が持続可能な社会の実現につながる」とあいさ

つ。県社協の村田嘉子常務理事は「有効活用させていただく」と話した。

(佐合千子)



村田嘉子常務理事(左)に目録を手渡す大野孝一部長＝岐阜市下奈良、県福祉農業会館